

新涯 福祉だより

発行：新涯学区の
福祉を高める会
発行責任者：北川 慶子

二〇二五年度新涯学区の 福祉を高める会 総会の報告

二〇二五年度新涯学区の福祉を高める会の総会を、去る五月二八日に新涯交流館において開催しました。決算や予算など関係する諸議案についてご審議いただき、全ての議案が承認されました。

主な内容は、次のとおりです。

一、二〇二四年度決算額

(収入の部)	
繰越金	656,193
補助金	275,000
助成金	50,000
雑収入	30,321
合計	1,011,514
(支出の部)	
事業費	228,974
会議費	23,850
事務費	39,853
備品購入費	0
雑費	92,438
合計	385,115
次期繰越	626,399

二、二〇二五年度予算額

(収入の部)	
繰越金	626,399
補助金	275,000
助成金	50,000
雑収入	48,601
合計	1,000,000
(支出の部)	
事業費	400,000
会議費	50,000
事務費	100,000
備品購入費	100,000
予備費	350,000
合計	1,000,000

三、新年度の主な事業

前年度と同様の事業を中心に、計画的に実施することとしています。

- ①ふれあい健康サロン・健康講座
- ②第九回新涯学区グラウンドゴルフ大会（体育会と共催）
- ③おもちゃサロン（毎月第三火曜日）
- ④くわい喫茶サロン（毎週水曜日）
- ⑤ふれあいいきいきサロン
- ⑥福祉だよりの発行 など

ふれあいいきいきサロンで 楽しいひとときを過ごしていただきました。

毎年恒例の行事として、おおむね八十歳以上の高齢者をお招きし、「ふれあいいきいきサロン」を開催しておりますが、今年は五月三日（金）に、「特養しんがい」の地域交流室をお借りして三十五名の方の参加をいただき開催することができました。

まず初めに、大正琴の演奏に合わせて懐かしい歌を大きな声で楽しく歌っていただき、次に小学校五年生の「しんがいソーラン」の踊りとミニブレゼントで元気いっぱいのパワーをもらいました。そして、「絵本見楽る」さんによる絵本と音楽のコラボによる楽しいお話と脳トレ・リングを行い、最後は運動普及推進員さんによるリラックステ体操で体と脳をリフレッシュされ、明るく楽しいひとときを過ごしていただきました。

その後、おいしいお弁当を参加者全員で楽しく会食することができました。施設を提供していただいた「特養しんがい」さんに心より感謝申し上げます。

このサロンに参加された皆さんの素敵な笑顔にふれあうことができ、スタッフ一同大変嬉しく思っております。来年も、皆さんの元気をお届けできるよう計画してまいりますので、どうぞお楽しみに、そしてたくさんのご参加をお待ちしております。



くわい喫茶サロンが 九周年を迎えました

「くわい喫茶サロン」は、おかげをもちまして本年六月で九周年を迎えることができました。

事業開始以来、多くの方々にご利用いただき、ふれあいとぎわいの輪が広がり、楽しいひとときを過ごしていただけてまいりました。

コロナ禍等で厳しい時もありましたが、皆様方のご理解とご協力により事業を継続することができております。

今後もサロンの開設趣旨を踏まえながら、皆様方が安心してお立ち寄りいただけるよう運営に努めて参りたいと考えておりますので、引き続きご利用いただきますようよろしくお願いいたします。

毎週水曜日・交流館実習室にて
九時三十分から十一時三十分まで

メニュー

ホットコーヒー・アイスコーヒー（夏期限定）・紅茶・しょうが湯、お菓子付きで一杯百円です。

合言葉は『今日は何の日、くわい喫茶の日』



お気軽に
お立ち寄り
ください♪



健康サロン・健康講座について

福祉を高める会では、原則毎月第四金曜日に「健康サロン・健康講座」を開催しております。

六月二十七日には、(株)ヤクルト山陽の貝原理沙さんを講師に「睡眠学」〜眠れていますか〜というテーマで講座を開催しました。

七月は、つぎのとおり開催しますので、奮ってご参加ください。

日時：七月二十五日（金）午後二時三十分〜三時（予定）

場所：新涯交流館 会議室

内容：『体力向上のための運動』

講師：保健所健康推進課 保健師

介護予防運動指導員

定員：二十人（要予約） 九五三・五六三四

八月以降も、健康の維持増進に関わる楽しい講座を計画して参りますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

第九回グラウンドゴルフ大会を開催

去る六月二三日（日）、新涯小学校グラウンドにおいて、福祉を高める会と体育会共催による第九回グラウンドゴルフ大会を開催しました。

各町内会から、十八チーム、合計九〇人の選手が参加され、わきあいあいの中にも白熱した大会となりました。選手の皆様、大変ご苦労さまでした。

試合の結果は、次のとおりでした。入賞された方々には、心からお喜び申しあげます。

試合の結果

団体の部

優勝 五丁目 町内会

準優勝 東上 町内会

第三位 沖 町内会

個人の部

優勝 今岡 康弘 様

準優勝 藤井 光紀 様

第三位 木之下千春 様

（西新涯一丁目町内会）



おもちゃサロンで楽しく遊ぼう！

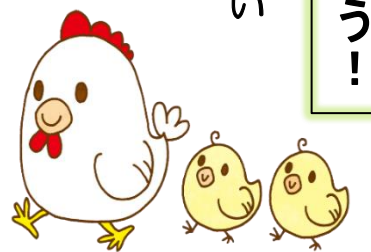
対象 保育園や幼稚園などに通っていない

就学前の乳幼児とその保護者

日時 毎月第三火曜日

午前十時から午前十一時三十分

場所 新涯交流館 会議室



核家族化が進む地域にあって、子育て中の親子の居場所づくりとして開催しています。おもちゃ遊びや絵本の読み聞かせなど、こどもどうしのふれあいや交流を深めるとともに、こどもの病気や発達などに関する不安や心配ごとについて気軽に相談できる場としても利用できます。なお、昨年度ご利用されていた方々から、素敵なお手紙をいただいております。紙面の関係もあり連載にして紹介させていただきます。

連載① 社会とのつながりが！

家にいると、雑多な家事と並行してこどもと過ごすことになるが、「今日はおもちゃサロンの日！」と出かければ、こどもとの関りに集中できる。家に帰って午後からは、昼寝をさせて、晩ご飯を作ったというシンプルな一日に少し心のゆとりができた。

何度か行くと「〇〇くんおはよう」とスタッフの方の声をかけてもらい、自分とこどもを知ってくれてる人が出来た！と嬉しかった。

おもちゃサロンで知り合ったお友達と学年が違っても声を掛け合うことができることもありがたい。

地域の行事などで偶然会うことがあっても、お互いに声を掛け合える人がいるだけで社会とつながっている感がある。

(K・K)



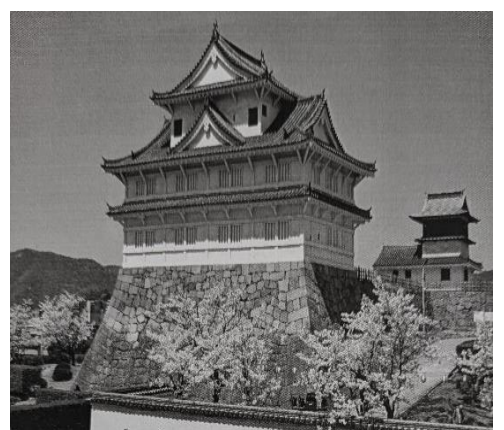
福山城あれこれ No.3

国宝級の櫓 伏見櫓

福山駅北口前の道を渡り、左にある階段を上がり右折すると三階建ての建物（櫓）が頭上に迫ってきます。

戦禍に会わず四百年以上福山市の発展を見てきた伏見櫓です。名前の謂れは、

秀吉から家康へ引き継がれてきた伏見城（京都市）からきています。家康が駿府城（静岡岡県）へ移るため伏見城が廃城となり、その多くの櫓や門などが福山城に移築されたと言われています。



伏見櫓は、東西に伸びた一・二階の上に三階を南北に向けて載せる望楼型と言われる建築様式です。壁も柱を漆喰で塗り出す意匠は、慶長時代（一五九六年〜一六〇五年）の古式城郭建築と言われております。（福山城は一六二二年築城、内部も櫓の大きさに比べ、太い柱や梁がみられます。また、柱をよく見ると削られた表面（加工痕跡）が丸かったり、角ばったりして複数の加工痕が混在しています。現在、痕跡の拓本をとる等の資料作りが進められております。

二階には、「松ノ丸の東やくら」の刻字を見ることが出来ます。解体・移築の際、大工の棟梁が柱を元の形に戻すため、「はノ二」「一ノ八」などと印を付けます（番付け）が、「松の丸の・・・」も移築時に書かれたものと推測されております。番付も多種類存在するため、加工痕跡と併せて時代考察が進められています。

伏見城から移築されたと言承される建造物は多くありますが、文字（刻字）立証された全国で唯一の櫓なのです。故に、国宝級の櫓と言われているのです。

毎年十一月三日（文化の日）には一般開放されます。事前予約が必要ですが、是非四百年前にタイムスリップして、柱の加工痕跡や刻字を確かめてください。

急な階段は、現代では体験できない角度です。

参考文献「新版福山城」「備後福山城」他 城ガイド資料

Y・T